事業終了報告　概要表*（1頁以内）*

|  |  |
| --- | --- |
| プログラム名 | （初動対応期、緊急対応期） |
| 事業名 |  |
| 開始日 | 年　月　日 | 終了日 | 年　月　日 | 日数 | 日間 |
| 団体名（提携団体名） |  | 担当者名(Email) |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| JPF助成総額 | 円 | 区分：政府支援金　　円、民間資金　　円 |
| 支出額 | 円 | ％ |  | 日本国内（都市名） | 事業対象国名 |
| 直接事業費 | 円 | （　％） |
| 間接事業費 | 円 | （　％） | 国際スタッフ | 人役 | 人役 |
| 返還金額 | 円 | ％ | 現地スタッフ |  | 人役 |

|  |  |
| --- | --- |
| アウトカム |  |
| 事業全体としての効果（概要） |  |
| アウトプットの達成度とそこから得た学び*（「アウトプットの達成度とそこから得た学び」に記載の要約をコンポーネントごとに記載）* | 裨益者（誰が、何人）*（計画の達成度を含む）* |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

事業の効果*（原則1頁以内）*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業開始前の状況 | 事業開始時に目指したアウトカム | アウトカムの達成度を測る指標・目標値（確認方法） | 事業実施後の実績（事業開始時に立てた目標値に対する実績） |
|  |  |  |  |
| 事業開始前の状況 | 事業開始時に目指したアウトプット | アウトプットの達成度を測る指標・目標値（確認方法） | 事業実施後の実績（事業開始時に立てた目標値に対する実績） | 実施された活動（具体的に記載） | 事業実施後の個別の効果および副次的効果 | * 正の外部要因
	+ - 負の外部要因
 |
| *清潔な水へのアクセスが不十分* | *1．コミュニティが清潔な水へアクセスできる* | *・井戸が8基設置される**・400名が井戸を利用**・8井戸管理委員会が設立される**<確認方法>**・井戸管理委員会設立合意書・管理委員会議事録**・井戸利用状況調査結果**・井戸の工事記録* | *・井戸が7基設置された**・350名が井戸を利用**・井戸管理委員会が7委員会設立される* | 1. *対象地域における住民会議（事業についての説明）*
2. *井戸管理委員会の設立*
3. *井戸管理委員会への研修の実施*
4. *井戸管理委員会および住民との協力による井戸設置場所の選定*
5. *井戸の掘削・設置*
6. *井戸管理委員会による井戸利用状況調査の実施*
 | *<効果>**・コミュニティが清潔な水にアクセスできるようになった。**<副次的効果>**・子ども・女性が水汲みにいく時間が減った* |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

事業終了報告書*（原則8頁以内）*

1. アウトカム*（事業による介入のアウトプット（結果）が用いられることによって達成される効果。事業計画書に基づく）*
2. 事業全体としての効果*（事業地名も明記のこと）*
3. 事業計画変更の記録*（変更申請の対象となるもの）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 承認日 | 変更区分 | 変更内容の概要 |
|  |  |  |
|  |  |  |

1. アウトプットの達成度とそこから得た学び（コンポ―ネント別）
	1. コンポーネント1：*（事業に合わせて見出しを書き変え）*
2. 配布物、設置物、研修等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、事業計画書のログフレームに基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. アウトプットの達成度（以下の3つから選択）
	* 1. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった
2. 達成度を判断した理由とそこから得た学び

* 1. コンポーネント2：*（事業に合わせて見出しを書き変え）*
1. 配布物、設置物、研修等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、事業計画書に基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. アウトプットの達成度（以下の3つから選択）
2. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった
3. 達成度を判断した理由とそこから得た学び
	1. コンポーネント3：*（事業に合わせて見出しを書き変え）*
4. 配布物、設置物、研修等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、事業計画書に基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. アウトプットの達成度（以下の3つから選択）

1. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった

1. 達成度を判断した理由とそこから得た学び
2. 事業の自己評価とその根拠
	1. 事業計画・実施の妥当性・適切性（Relevance/Appropriateness）

*・地域のどのようなニーズと優先順位を把握し、どのようにそれに対応できたか。*

*・地域の主体性をどの程度重視し、それに応じて信頼性を満たした事業実施ができていたか。*

*・カウンターパートの選択や協力の仕方は適切であったかどうか。*

* 1. 事業の連結性または持続可能性（Connectedness or Sustainability）

*＜短期の災害支援活動の場合＞*

*・中長期の活動への連結性がどのように確保されたか、中長期に想定される課題をどのように念頭に置いて活動したか。*

*＜中長期の復興支援、人道支援の場合＞*

*・事業計画書に記載の「持続発展性」はどの程度達成されたか。*

*・事業撤退後に事業効果/便益が継続するように、どのような仕組み作りを行なったか。どのような出口戦略を取ったか。*

* 1. 事業実施における効率性（Efficiency）

*・インプット（資金、技術、知識、時間等）に対していかに適切なアウトプット（事業の効果や裨益者の便益）が得られたか。*

*・他のアプローチと比較した場合、最も効果的なプロセスが採用されていたかどうか。*

*・事業地の人材、技術等のリソースを十分に活用できたかどうか。*

* 1. 事業実施における有効性（Effectiveness/Timeliness）

*・事業目標はどの程度達成されたか（事業全体について）。目標達成を促進した要素、障害となった要素は何であったのか。*

*・タイミングのよい事業であったどうか。*

*・初動対応の場合、十分に迅速な支援が実施できたか。今後さらに改善の余地はあるとしたらどのようなことか。*

* 1. 事業実施に際しての調整（Coordination）

*・国や行政の政策や、他の支援団体とどのように連携・調整をした上で事業を実施したか。*

*・国連のクラスター会合、受入れ国政府等とどのように連携・調整を行なって事業を実施したか。*

* 1. 事業実施によるインパクト（Impact）

*・事業を実施したことにより、個々の裨益者に対して、社会・経済・技術・環境、平和構築等、どのような広義の効果があったか。意図した効果と、意図しなかった効果、肯定的な効果と否定的な効果について、該当することをそれぞれ記載する。*

*・短期の災害支援等で該当しない場合は記述の必要は無い。*

* 1. 人道支援の必須基準（CHS）及びスフィア・スタンダードへの適合性（Observance of CHS / Sphere Standard ）

*・CHSとスフィア･スタンダードに定められている基準を満たすよう努めた事業を行なったか。*

*・できなかった場合はどのような問題があったか。*

1. 事業管理体制*（上手くいった点、いかなかった点を、理由を含め記載）*

（１）人員配置

（２）資金管理

（３）安全管理体制

1. 想定していたリスクへの対応*（想定していたリスクに対応した場合のみ記載）*
2. 広報実績*（JPF事業に関する広報実績を中心に記載）*
3. その他の報告事項